

スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド
愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

お知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、
株式会社格付投資情報センターの選定による
「R&Iファンド大賞2018」において、
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で
「優秀賞」を受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

※当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

基準日 2018年10月31日

【運用実績】

| 過去のパフォーマンス(%) | 直近の分配実績(円) | |
|---------------|------------|--------|
| | ファンド | JASDAQ |
| 過去1ヵ月間 | -8.78 | -7.08 |
| 過去3ヵ月間 | -4.88 | -7.27 |
| 過去6ヵ月間 | -5.68 | -10.62 |
| 過去1年間 | 4.74 | -5.74 |
| 過去3年間 | 43.39 | 39.99 |
| 設定来 | 429.56 | 131.02 |

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

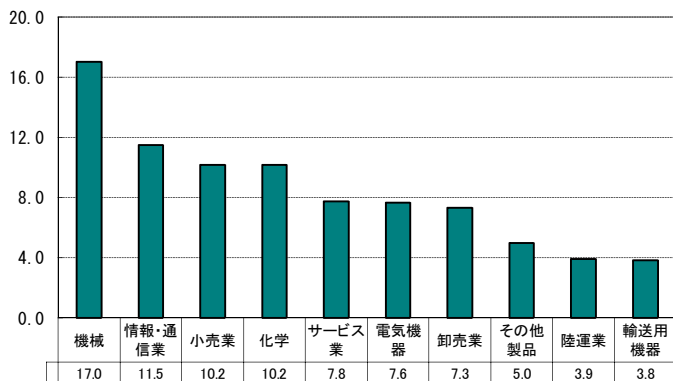
【株式市場別構成】

| 資産別構成 | 比率(%) | 株式市場別構成 | 比率(%) |
|-----------|-------|---------|-------|
| 株式 | 93.5 | 東証1部 | 90.0 |
| 投資信託証券 | 0.0 | ジャスダック | 0.0 |
| その他株式関連証券 | 0.0 | 東証2部 | 0.7 |
| 現金その他 | 6.5 | 東証マザーズ | 2.8 |
| | | その他市場 | 0.0 |
| | | 株式組入比率 | 93.5 |

※比率は対純資産総額

※比率は対純資産総額

【株式業種別構成 上位10業種(%)】



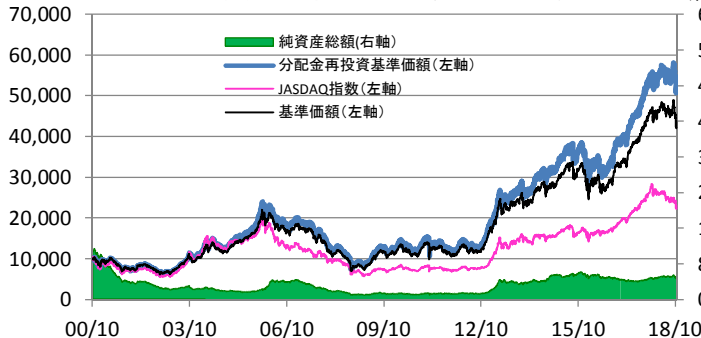
※比率は対純資産総額

【基準価額・純資産総額の推移】

| 基準価額 | 解約価額 | 純資産総額 |
|-----------------|---------|---------|
| 43,885円 | 43,754円 | 48.76億円 |
| ハードル価格: 46,685円 | | |

※基準価額がハードル価格を超えると実績報酬が発生します。詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

※2000年10月18日(設定日前営業日)を10,000として指数化 (億円)



※当ファンドはJASDAQ指数に連動するものではありません。
 ※基準価額は、信託報酬および実績報酬等控除後です。
 ※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
 ※過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【組入有価証券 上位10銘柄】

(銘柄総数:55銘柄)

| 順位 | 銘柄 | 市場 | 業種 | 比率(%) |
|----|------------------|----|--------|-------|
| 1 | センコーグループホールディングス | 東1 | 陸運業 | 3.9 |
| 2 | パルグループホールディングス | 東1 | 小売業 | 3.4 |
| 3 | JUKI | 東1 | 機械 | 3.1 |
| 4 | NECネットエスアイ | 東1 | 情報・通信業 | 3.1 |
| 5 | タクマ | 東1 | 機械 | 3.1 |
| 6 | 前田工織 | 東1 | その他製品 | 3.1 |
| 7 | 藤森工業 | 東1 | 化学 | 3.0 |
| 8 | 新日鉄住金ソリューションズ | 東1 | 情報・通信業 | 3.0 |
| 9 | パルコ | 東1 | 小売業 | 2.9 |
| 10 | UKCホールディングス | 東1 | 卸売業 | 2.9 |

※略称は下記の取引市場を指します。

※比率は対純資産総額

東1:東証1部、東2:東証2部、マザーズ:東証マザーズ、JQ:JASDAQ

【運用担当者のコメント】

受益者の皆様におかれましては、基準価額の大幅な変動に対してご不安をお感じのことかと存じます。

10月に入り株式市場が大きく下落し、業績見通しを引き下げる企業が増え始めるなど、経済環境が大きく変化し始めています。スパークス・アセット・マネジメントでは変化する状況に適切に対応するため、現状把握を十分に行ない、環境変化が生み出す新たな投資機会を捉えるよう、従来にも増して調査活動に努めてまいります。

私どもは市場環境がいかなる状況においても、一貫した投資哲学に則ってボトムアップ・リサーチで選別した「優れた企業」への投資を行ってまいります。今後も運用体制の維持・強化に努めてまいりますので、引き続きご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

基準日 2018年10月31日

(前ページより)

◆株式市場の状況

10月は、金融引き締めの影響懸念や米中貿易摩擦の深刻化、また一部企業の決算への失望などから、米国株式市場が大きく下落したことなどの影響を受け、日本株式市場も大きく下落しました。中国経済の先行き懸念や中国の設備投資需要の低下、ハイテク関連投資の縮小懸念なども、日本企業の業績見通しに悪影響を与えました。前月末に株価が急騰した反動もあったと考えられます。

この結果、TOPIX（配当込み）は前月末比9.41%の下落、当ファンドのベンチマークも同7.08%の下落でした。東証マザーズ指数は前月末比15.78%の下落と引き続き大型株優位の展開でした。

◆ファンドの運用状況

当ファンドのパフォーマンスは前月末比8.78%の下落となり、ベンチマークを下回りました。

発表された2019年2月期第2四半期業績が、アパレル各社の苦戦をよそに堅調だったパルグループホールディングス、日本郵政キャピタル株式会社との資本提携を発表した農業総合研究所などの株価上昇が、プラスに貢献しました。インターワークスは特段のニュースフローはなかったものの、相場急落局面において売り圧力を受けにくかったことがプラス貢献の要因と思われます。

一方で、ファンダメンタルズ面のネガティブなニュースフローはなかったものの、貿易摩擦など外部環境に対する先行き懸念が台頭したことで下落した日精エー・エス・ビー機械の株価下落などが、マイナスに影響しました。

10月の売買行動としては、引き続き既存銘柄への買い増しとともに、株価が上昇し割安感がなくなった銘柄の売却を行っています。当月の新規投資銘柄はありません。

◆今後の運用方針

10月の日本株式市場は前月から一転し、米国の金利上昇、米国とサウジアラビアの関係悪化、中国景気減速懸念などを背景に、世界的なリスクオフの展開となりました。特に米国株式市場の牽引役であったテクノロジー関連銘柄の調整幅は大きく、日本株式市場においても成長株や新興市場が株価下落を先導しました。

従来から意識されてきた様々な懸念が同時に台頭し、「懸念が懸念を呼ぶ展開」となったことが大幅な調整を生んだ要因と考えますが、市場には将来に対する「淡い期待」が残っているものの、依然先行きを楽観視できる状況にはないと考えています。

一方、当該不透明感が台頭する環境においても、事業規模が大企業に比し小さい中小型株市場の企業の中には、独自要因で外部環境の影響を上回ることができる企業が多く存在します。市場全体の調整局面はこのような悲観視された魅力的な投資機会を発掘できる環境でもあります。当ファンドにおいては、引き続き「愚直なボトムアップ・アプローチ」により、超過収益の達成に努めます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド 愛称: ライジング・サン

ファンドの目的

当ファンドは、日本の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行うことを基本とします。

ファンドの特色

IT化、新技術開発、経営革新を進めている成長企業と日本社会の構造変化への適応力の高い企業に注目した、小型株式中心に投資するファンドです。

1. 銘柄選定基準として、以下の点に着目して投資を行います。

- (1) 中長期的に高い成長が期待される企業
- (2) 収益力に対して株価が割安に放置され、かつ経営体質の改善等変化の兆しが認められると判断した企業
- (3) 上記の成長、変化を支える優秀な経営陣、技術等を有している企業

2. ベンチマークは JASDAQ 指数[※]とします。

※ JASDAQ 指数(JASDAQ INDEX)とは、JASDAQ に上場している内国普通株式全銘柄を対象として時価総額加重方式で算出される株価指数です。

JASDAQ 指数の指数値および商標は、東京証券取引所の知的財産であり、一切の権利は同社に帰属します。

3. 株式の組入比率は、高位に保つことを原則としますが、株式市場が中長期的かつ大幅に下落すると判断される場合は、組入比率を低めることにより、可能な限り機動的、弾力的に対処します。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称: ライジング・サン

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。こうした株式は、比較的新興であり、発行済株式時価総額が小さく、売買の少ない流動性の低い株式が少なくありません。その結果、こうした株式への投資はボラティリティ(価格変動率)が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド 愛称: ライジング・サン

お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

| | |
|----------|--|
| ファンド名 | スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド (愛称:ライジング・サン) |
| 商品分類 | 追加型投信/国内/株式 |
| 信託期間 | 2000年10月19日から2020年10月15日 |
| 決算日 | 毎年10月15日 (休業日の場合は翌営業日) |
| 収益分配 | 原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 |
| お申込時間 | 各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 |
| お申込単位 | 販売会社が定める単位 |
| お申込価額 | お申込受付日の基準価額 |
| 解約のご請求 | 販売会社の毎営業日に販売会社が定める単位で解約を請求することができます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 ※委託会社は金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止することができます。 |
| 解約価額 | 解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 |
| 解約代金の受渡日 | 解約請求受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。 |

お客様にご負担いただく手数料等について
* 下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料

お申込受付日の基準価額に **3.24%(税抜 3.0%)** を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

【ご解約時】

■信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に対して **0.3%** の率を乗じて得た額

■解約手数料

なし

【保有期間中】

(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬

純資産総額に対して **年率 1.836%(税抜 1.7%)**

■実績報酬

日々の基準価額がハードル価格を上回った場合、当該基準価額と当該ハードル価格の差額の **12.96%(税抜 12%)** を費用計上。実績報酬は決算期毎に信託財産から支払われ、ハードル価格も決算期毎に見直されます。

■その他の費用等

(1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率 0.10%(税込))

(2) 有価証券売買時の売買委託手数料等は、ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

【課税上の取扱い】

課税上の取扱いについては投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称: ライジング・サン

ファンドの関係法人について

●委託会社 **スパークス・アセット・マネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
 (加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 **三井住友信託銀行株式会社**

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

●販売会社 **下記一覧参照**

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

| 販売会社 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------------------|----------|----------------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物取引 業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問 業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| エイチ・エス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第35号 | ○ | | | |
| 株式会社SMBC信託銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長 (登金)第653号 | ○ | | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第44号 | ○ | ○ | | ○ |
| カブドットコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第61号 | ○ | ○ | | |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長 (金商)第20号 | ○ | | | |
| 東海東京証券株式会社 かんたんダイレクトサービス専用 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長 (金商)第140号 | ○ | ○ | | ○ |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第164号 | ○ | ○ | | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社三井住友銀行 インターネット・モバイル専用 | 登録金融機関 | 関東財務局長 (登金)第54号 | ○ | ○ | | ○ |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第2336号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スパークス・アセット・マネジメント株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第346号 | ○ | | ○ | ○ |

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。